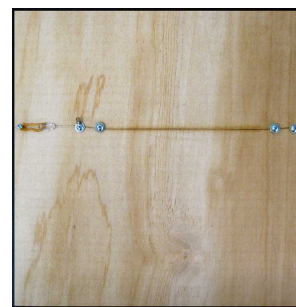


# 発泡スチロールスライサー



## 1. はじめに

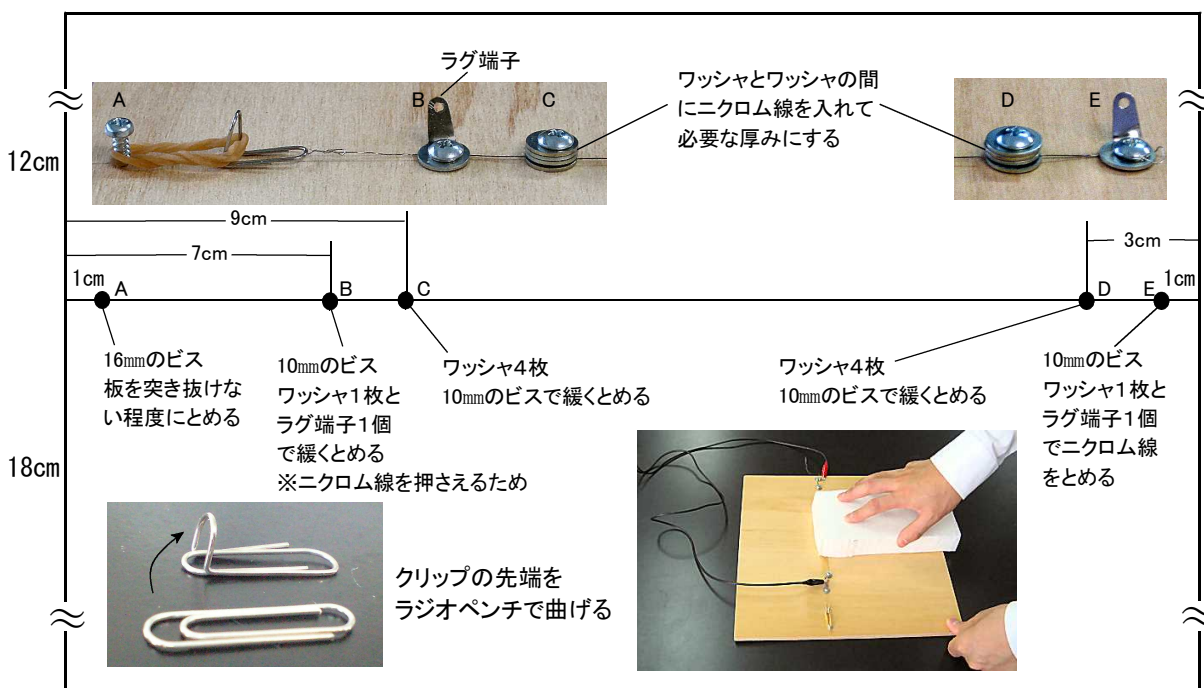
発泡スチロールのブロックを電熱線でスライスして、いろいろな厚さの発泡スチロールペーパーを作ります。

## 2. 材料

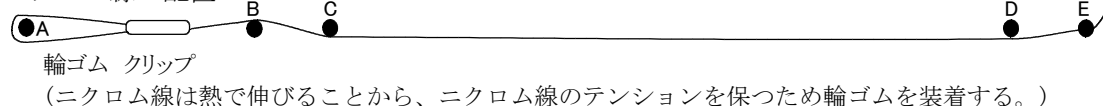
- ・ベニヤ板(9mm、30cm×30cm程度)1枚
- ・ワッシャ(厚み0.8mm程度)約10枚 … 下図C、D(ワッシャ1枚～4枚で厚さを調整)
- ・鍋型ビス(長さ10mm)4個 ・鍋型ビス(長さ16mm)1個 ・クリップ1個
- ・ニクロム線(φ0.2mm)30cm程度 ・輪ゴム1個 ・ラジオペンチ ・ドライバー
- ・電源装置(ACアダプターの場合は規格9V、1A程度) ・ラグ端子2個(無くても良い)

## 3. 作り方

下図のように製作します。



### ニクロム線の配置



## 4. 発泡スチロールペーパーの作り方

- ・電源装置(ACアダプター)とラグ端子(無い場合は直接ニクロム線)をつなぐ。
- ・ニクロム線に電流を流す(電圧は9～10V程度)。すぐにニクロム線が熱くなるので、鋸節を削るようにして発泡スチロールをスライスする。

## 5. ニクロム線に流す電流等

- ・φ0.2mmのニクロム線(630円程度/10m、Narika)の抵抗値は10cmで約5[Ω](発熱時)。
- ・発泡スチロールを切るには、5～10[W]の電力が適している。